

WALKING MAP

～自然の小径～

瀬戸内の絶景と

はなこみち

四季の花小径

2.5kmコース

気楽に歩ける散歩道



休暇村瀬戸内東予

愛媛県西条市河原津

TEL 0898-48-0311

⑨ 龍神社と大岩大明神

園地内のより奥に進むと不思議な場所にたどり着きます。こちらは龍神社と大岩大明神と呼ばれる、神秘的な場所です。大岩大明神は、桜井海岸の漁業繁盛を祈るために、大きな岩でズッシリと見守っています。これとは逆に、龍神社は、大岩大明神の岩が砕けた部分にひっそりと、海の安全を守るために祭られています。



⑩ 休暇村の東屋②

こちらの東屋からは、西日本最高峰の石鎚山（1982m）を眺めることができます。7月1日に山開きが行われ、夏には登山客が多く訪れます。9月下旬からは写真では表現できないほどの美しい紅葉が見頃を迎えます。そして、11月には氷が見られ、下旬には薄く雪化粧がほどこされて休暇村からの眺めもキラッとします。



～ウォーキングについて～

- ウォーキングはひとそれぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。
- こまめに水分補給を行きましょう。

⑥ ヒラドツツジ

ヒラドツツジ(ツツジ科)とは、古くから長崎県平戸（ヒラド）市で栽培されてきたことが名前の由来とされています。萌芽力が強いことから街路樹としてよく使われており、園地内のツツジ棚では4月に白、桃、赤色の大きな花が満開になります。



⑦ 桜井海岸

白い砂浜と延々と続く緑の松が美しい桜井海岸は、「日本の渚・百選」に選ばれている浜辺です。四季に関わらず暖かいこともあり一年を通して地域の人達や観光客が訪れます。浜辺では釣り(キス・チヌ・カレイ)、海水浴、さらにはキャンプ場があり、夏は大勢の人でにぎわいます。



⑧ 瀬戸内水軍とひうちなだの島々

瀬戸内海のひうちなだは、多島美で知られ、潮流の激しい海です。そのため、昔から航海が難しく、地形や潮流に詳しい地元の人達が水先案内や舵取りの仕事をしていました。これらの人達は武装して組織化し、航海する船の安全を守るようになりました。これが村上水軍で、来島(くるしま)、能島(のしま)、因島(いんのしま)の村上一族が、強い勢力を持つようになりました。彼らはその後、豊臣時代に至るまで、日本の歴史の陰になり、重要な役割を果たしてきました。

① エニシダ

エニシダは樹高 2~4m と高く、4 月中旬に、花は分枝した枝の隅々にまで黄色く小さな花をたくさん咲かせます。これと同時に、特徴のある良い香りを放つため、ほかの植物より存在感を感じさせます。



② 休暇村の東屋①

東屋からは、今治市方面に大島・伯方島などと並んでしまなみ海道の一部、来島海峡大橋が見えます。この橋は世界初の3連吊橋とよばれており、橋の上では、国内初となるサイクリングを楽しむことができ、その距離は約 80km にもなります。



③ ウグイスとホオジロ

春の園地内では、野鳥たちのオーケストラが一齐に始まります。4 月~6 月には日本三鳴鳥の一つであるウグイスが長い間綺麗な声を聞かせてくれます。ホオジロが多く見られ「チチツツツ」と鳴き、木々の間から特徴的な顔を出しています。上空では、大きな翼を雄大に羽ばたかせたトンビが、瀬戸内海の多島美を見下ろし、力強さとは逆にピーヒョロロと穏やかに鳴いています。鳥の鳴き声を作り出す空間と植物の豊かな色彩が、海の水色一色とは対照的でなんとも言えない空間を作り出しています。



④ 河津桜とソメイヨシノ

河津桜の名前が由来になっているのは静岡県河津町です。休暇村園地内の河津桜は、2003 年 1 月に地元今治市出身で河津町在住の方のお世話により植樹されました。また“ソメイヨシノ”は種ができない特性を持ち、人間の手でしか広まる手立てがない桜です。「さくらの開花予想」(桜前線)もこの桜が基準になっています。



⑤ 藤棚

藤はフジ属に含まれる植物で、本州・四国・九州の暖かい地域に分布しています。花序は、長くしだれて約 20cm~80cm に達します。4 月から 5 月に見せる淡紫色の花を垂れ下げて咲く満開の光景は、旬の小ぶりのぶどうを思わせ、小さく愛らしい花をたくさん咲かせます。

